

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業(バス利用促進等総合対策事業)			シート番号	017-019
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通 課 評価責任者(課長名) 山下

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	無
	2	事業開始年度	平成 4 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市バス利用促進等総合対策事業補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	高齢化の進展等によりバス利用者が減少し、公共交通を維持していくことが困難になってきており、バスの利用促進に繋がる事業に対して補助を行っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民、路線バス利用者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	公共交通の利用促進及び利便性の向上、バリアフリーの促進などを行うことで、公共交通を利用しやすいものとし、市民生活に不可欠なバス路線の維持・活性化に繋げることを目的とする。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	バス事業者が実施する利用促進等に資する事業(ノンステップバスの導入等)に対して、事業費の一部を補助することにより、公共交通の利用促進及び利便性の向上を図る。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 南海バス株式会社					

Ⅲ. 投入量

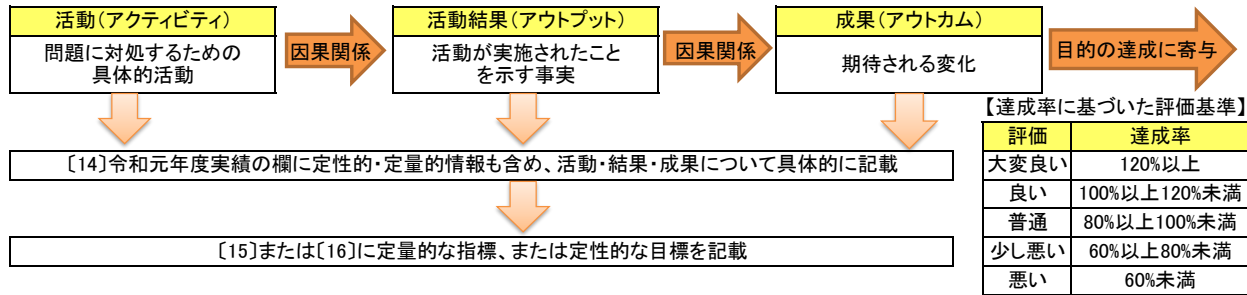
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	6,824	3,333	3,640	0	5,239	3,300	5,200	
	補助金	千円	6,824	3,333	3,640	0	5,239	3,300	5,200	
	負担金	千円								
	委託料	千円								
	国・府支出金	千円								
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
	市債	千円								
	その他()	千円								
	一般財源	千円	6,824	3,333	3,640	0	5,239	3,300	5,200	
	12	人件費 (b)	千円	3,772	4,100	1,722	1,640	1,782	1,620	2,460
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,596	7,433	5,362	1,640	7,021	4,920	7,660

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	公共交通利用促進事業(バス利用促進等総合対策事業)	シート番号	017-019
-------	---------------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	ノンステップバスの導入にあたり、国との協調補助で実施しており、令和元年度は中型3台のノンステップバスの導入に対して補助を実施し、公共交通の利用促進、及び利便性の向上を図ることにつながった。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		ノンステップバス導入率	率	目標値	42%	36%	36%	40%
				実績値	35%	34%	38%	
				達成率	84%	95%	106%	
				評価	普通	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		前年度のノンステップバスの保有台数とバス事業者の導入予定台数を元に算出					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			目標値					
			実績値					
達成率								
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	補助台数	両	2	0	3
	②	上記①にかかる年間経費	千円	7,433	1,640	4,920
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	3,716,500		1,640,000
	備考(算出についての説明等)		補助台数がノンステップバスの導入率の算出根拠の一部となるため、補助台数にて設定			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
19	<p>中型3台分のノンステップバスの導入に補助を行い、利便性の向上につなげる事が出来た。今後も導入に対して補助を継続し、公共交通の利用促進を図っていく必要がある。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	公共交通利用促進事業(バス利用促進等総合対策事業)	シート番号	017-019
-------	---------------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ノンステップバスの導入が遅れることは、市民サービスの向上にも遅れが生じ、路線バスを利用しているすべての人に影響が出る。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ノンステップバスの導入が遅れることは、市民サービスの向上にも遅れが生じ、路線バスを利用しているすべての人に影響が出る。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 堺市の公共交通を担う路線バス事業者に対して国と強調して補助を行うことで、堺市内のバスの利用促進や利便性向上を図ることが、バス交通の維持活性化と市民サービスの向上につながるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 民間バス事業者に対して路線バスの利用促進に資する事業に要する経費への補助を行う制度であるため。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 国と協調して補助を行っており、今後もノンステップバスの導入を促進していくために引き続き継続して補助を行っていく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	当事業は、バスの利用促進や利便性向上に不可欠な事業であり、事業の実施についても国と連携して補助を行うなど、今後も現状維持での継続を予定している。	